

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	573 登記事務事業										
予算科目	01-080101-13		登記事務に要する経費					担当部課	建設部道路整備課		
市長公約									係名	道路用地係	
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（義務）
										事業体制	職員のみ
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									不動産登記法	SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民等									
目的	道路拡幅業務に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行う。									
概要 (取組内容)	取得した道路用地の登記処理（分筆、所有権移転、地目変更等）を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	7,624	7,969	8,562	8,467	8,467	
	決算額	(千円)	7,148	7,500	7,886	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,148	7,500	7,886	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,572	6,995	9,564	9,093	9,093	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.00	1.30	1.30	1.30
		正職員時間外勤務	(時間)	33.12	36.20	68.80	46.90	46.90
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	嘱託登記申請数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	488.0	507.0	360.0	374.0	329.0	311.0
	指標の概要	分筆・所有権移転・その他登記の申請数の合計とする。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和6年度中登記件数311件のうち16筆の調査・測量、16筆の分筆・所有権移転登記を行った。また2筆の賃貸借の解消を行った。用地買収着手前に権利関係を洗い出し、令和7年度に円滑な交渉を行う準備を行った。
成果		工事施工前に14路線中9路線について、所有権移転及び物件移転が完了したため、工事着手できる状況を提供できた。未完了の5路線のうち、2路線については地権者側との交渉の結果、令和7年度中に契約することで調整している。
課題	業務	長期間相続が未了となっている相続人調査や、補償物件に建築物が存在する場合の地権者との調整に多くの時間を費やすこと。引き続き、賃貸借の解消に努める必要がある。
	組織、予算等	用地取得・補償算定・登記申請には高度な専門性を要し、そのために幅広い知識の習得が必要。難航する地権者に対する交渉方法を組織で対応をすべく早期の情報共有が必要。
改善目標		長期間の交渉が見込まれる地権者についての組織内での情報共有化。交渉方法(人・場所を含めた)の再検討。前年度同様の緻密な事前調査の継続。未登記案件の適切な処理。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	578 道路新設改良事業									
予算科目	01-080202-11 道路新設改良に要する経費					担当部課	建設部道路整備課			
市長公約						係名	工務係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	道路法 等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民等									
目的	未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善する。									
概要 (取組内容)	地元要望を踏まえ、必要性の評価、優先順位が整理された生活道路について、拡幅等の整備を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	806, 449	996, 044	1, 140, 557	992, 340	992, 340	
	決算額	(千円)	610, 357	780, 824	835, 734	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	91, 668	126, 253	6, 295	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	518, 689	654, 571	725, 300	0	0
		その他	(千円)	0	0	104, 139	0	0
人件費	人件費計	(千円)	45, 446	52, 720	50, 060	54, 762	54, 945	
	内訳	正職員従事割合	(人)	6. 30	7. 20	6. 40	7. 40	7. 40
		正職員時間外勤務	(時間)	1, 040. 07	1, 234. 20	1, 535. 70	1, 506. 80	1, 582. 00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	市道の改良率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0
	実績	58. 7	59. 2	59. 4	59. 6	59. 9	60. 1
	指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度以上の予算を確保し、概ね計画通り事業を実施した。
成果		計画的に道路改良事業を実施することにより、安全かつ円滑な交通を確保することができた。
課題	業務	早期発注や発注前の事前調整を積極的に行ったものの、依然、一部の事業が繰越となっている。
	組織、予算等	数多くの地元要望がある中で、安定的に予算を確保し、計画的に整備を進めていく必要がある。
改善目標		ゼロ債務負担の積極的活用により事業発注の平準化を行い、繰越事業の削減を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	579 緊急地方道整備事業											
予算科目	01-080203-11 緊急地方道整備に要する経費					担当部課	建設部道路整備課					
市長公約							係名	工務係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（任意）			
								事業体制	職員のみ			
個別計画							事業期間	毎年度				
根拠法令等							道路法等	SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民等									
目的	交通量の分散化や市全体の経済活動、地域活動を活性化するため、国、県の補助事業を活用し、市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図る。									
概要 (取組内容)	現一級幹線市道を一般県道館野牛久線から国道408号まで延伸整備する事業。 ・市道1級71号線整備事業 L=852m									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	85,688	112,214	140,088	15,565	61,780	
	決算額	(千円)	51,429	36,305	81,230	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,557	5,876	7,930	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	45,872	30,429	73,000	0	0
		その他	(千円)	0	0	300	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,358	3,731	4,704	4,473	4,518	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.50	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	111.25	113.90	148.00	135.40	154.20
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	改良整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	60.0	60.0	60.0	70.0	90.0	100.0
	実績	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0	58.0
	指標の概要	市道1級71号線の総延長に対し供用済延長の割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		財源となる補助金の計画的確保が可能となるよう、茨城県と協議・調整を行った。 交差点改良工事に向けた関係機関協議を行った。
成果		関係機関と協議・調整を行った結果、財源となる補助金を計画通り確保し、当初の予定通り工事発注を行うことができた。
課題	業務	市道１級71号線において、供用開始に向けた将来管理者や交通管理者との最終調整を行う必要がある。
	組織、予算等	市道6-3106号線未整備区間を新たに事業化し、整備方針の決定、関係地権者や関係機関との協議を行い、方針に基づく予算の要求が必要となる。
改善目標		未整備区間の着手にあたっては、過去の経緯を事前に把握した上で、関係機関等との協議・事務を迅速に行い、計画的に事業を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	580 河川整備事業																			
予算科目	01-080301-12					河川整備に要する経費					担当部課	建設部道路整備課								
市長公約													係名	工務係						
戦略プラン															新規・継続	継続				
															事業分類	自治事務（義務）				
															事業体制	職員のみ				
個別計画											事業期間	毎年度								
根拠法令等											河川法	SDGs	11住み続けられるまちづくりを							

事業の概要

対象	市民等									
目的	台風・大雨等による河川の氾濫を最小限に抑えるために、河川改修等の整備を行う。									
概要 (取組内容)	集中豪雨、台風等による河川の氾濫に対し、安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。 ・八幡川河川改修事業 L＝1,100m									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	35,775	55,560	74,050	152,438	131,155	
	決算額	(千円)	33,341	26,928	44,022	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,741	6,828	7,412	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	24,600	20,100	32,700	0	0
		その他	(千円)	0	0	3,910	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,179	1,523	2,370	2,320	2,320	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	55.32	57.90	81.30	102.10	102.10
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	河川の改修整備率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9.0	9.0	18.0	25.0	33.0	42.0
	実績	9.0	9.0	18.0	25.0	25.0	33.0
	指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		・ 計画的に予算を確保し、河川改修工事を進めた。 ・ 今後、移設が必要となる農業用パイプラインについて、施設管理者と設計協議等を進めた。
成果		・ 河川改修工事を計画的に進めたことにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。 ・ 移設対象となる、農業用パイプラインの工事発注に向けた最終協議を行った。
課題	業務	・ 近年の異常気象等による河川の氾濫等により、護岸の破損等が懸念されるため、早急な対応が必要。 ・ 今後、農業用パイプラインや下水道の移設、橋梁架け替え等の関連事業を河川改修と同時に進めていく必要があるため、協議・調整は可能な限り前倒しで実施していく必要がある。
	組織、予算等	災害予防の観点から、早急に事業を進める必要があり、計画的な予算確保が必要。
改善目標		今後、整備計画に影響が予想される関係機関との協議を早急に進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	582 街路整備事業											
予算科目	01-080402-11					街路整備に要する経費					担当部課	建設部道路整備課
市長公約	45										係名	街路係
戦略プラン										新規・継続	継続	
										事業分類	自治事務（義務）	
										事業体制	職員のみ	
個別計画											事業期間	毎年度
根拠法令等											道路法	SDGs

事業の概要

対象	市民等									
目的	市民が快適で安全・安心な住環境及び交通環境を確保するため、都市基盤の整備を図る。									
概要 (取組内容)	都市再生整備計画に基づき、歩行者通行帯及び電線共同溝の整備を行う。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯の整備を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	579,282	429,444	446,174	611,289	465,010	
	決算額	(千円)	552,096	388,478	268,167	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	86,483	43,508	92	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	465,613	344,970	232,646	0	0
		その他	(千円)	0	0	35,429	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,894	23,058	24,103	23,058	24,501	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	3.20	3.20	3.20	3.40
		正職員時間外勤務	(時間)	260.07	394.60	394.60	394.60	420.20
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	921.0	1,836.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	実績	1,387.6	1,467.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば駅周辺の中心市街地について、街路灯設置工事は令和3年度に完了している。					

2	指標名	側溝入替工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,626.0	604.0	1,409.0	2,350.0	1,550.0	1,877.0
	実績	696.2	931.0	1,249.0	2,404.0	1,394.2	1,172.8
	指標の概要	数値は側溝入換の延長					
3	指標名	自転車通行帯整備工事の整備延長 (m)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば駅周辺の中心市街地について、自転車通行帯整備は令和2年度に完了しており、今後は現在策定中の自転車ネットワーク計画に基づき、周辺の整備を検討していく。					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		歩行者通行帯整備について、今年度は「通学路安全プログラム」に位置付けられている路線に加えて、都市計画区域内の路線についても補助金を活用し、整備を行った。
成果		歩行者通行帯設置を実施し、安心安全な住環境及び交通環境が整備された。
課題	業務	歩行者通行帯について、未着手の地区に関しても整備の検討を行う必要がある。
	組織、予算等	歩行者通行帯については、補助金を活用し事業を推進しており、補助金の内示額により事業量が左右されるが、各工事の規模を調整し、年度内での適正工期を確保する必要がある。
改善目標		歩行者通行帯について、未着手の地区も測量設計等を行い計画的に整備を推進するとともに、各工事の規模を年度内での適正工期を確保できるよう調整し、繰越を回避する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	584 上河原崎・中西地区スマートＩＣ設置事業（（仮称）つくばスマートＩＣ）									
予算科目	01-080412-11 圏央道推進に要する経費					担当部課	建設部道路整備課			
市長公約						係名	事業調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	期間限定複数年度			
根拠法令等						道路法等	SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市民等									
目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図る。									
概要 （取組内容）	（仮称）つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路株式会社（ネクスコ東日本）と基本協定を締結し、国や茨城県と連携しながら早期の供用開始に向けて事業を進めている。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	664, 230	409, 466	354, 381	10, 000	0	
	決算額	(千円)	568, 168	171, 469	311, 917	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	349, 668	12, 069	16, 757	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	218, 500	159, 400	272, 200	0	0
		その他	(千円)	0	0	22, 960	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14, 713	10, 104	16, 008	8, 702	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2. 10	1. 40	2. 10	1. 20	0. 00
		正職員時間外勤務	(時間)	168. 42	179. 20	335. 30	170. 40	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	事業進捗率（R3事業費見直しに伴い指標2へ移行）（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17.7	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費795,600千円（支出額 H29：6,381千円※R3修正、H30：32,280千円※R3修正、R1：102,493千円、R2：116,220千円）					

2	指標名	事業進捗率（R5事業費見直しに伴い指標3へ移行）（ % ）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	25.8	66.1	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,410,000千円（支出額 H29：6,381千円、H30：32,280千円、R1：102,493千円、R2：116,220千円、R3：105,936千円、R4：568,168千円）					
3	指標名	事業進捗率（R5事業費見直し後）（ % ）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	76.1	97.6
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,450,000千円（支出額 H29-R4：931,478千円、R5：171,469千円、R6：311,917千円）					
4	指標名	（ % ）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（ % ）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		以下2点について、東日本高速道路株式会社、茨城県と協議を行った。 ・一般道交差点改良工事着工後の工程管理や施工方法の調整 ・案内標識設置工事の着工に向けた施工方法等の調整
成果		・スマートICの整備に伴い、市街地案内標識設置工事が完了した。 ・東日本高速道路株式会社は、令和7年3月にスマートICの関連工事が全て完了し、つくば市と協定を締結した上で、同年3月23日に供用開始した。
課題	業務	・供用開始後の市道部の維持管理協定等に係る協議を東日本高速道路株式会社と、引き続き進めていく。
	組織、予算等	・供用開始に伴い、スマートICのフォローアップとして、事業効果の検討を行う必要がある。 その上で、地区協議会の運営方法や、予算確保についても検討を行う。
改善目標		・スマートIC供用開始後の維持管理協定等について、引き続きネクスコ東日本や茨城県と協議調整を図り、当事業を円滑に進めていく。 ・フォローアップについて、事業効果の検討および地区協議会の運営方法や必要な予算確保に努める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	縮小	
理由	スマートICの整備が完了したため、次年度、スマートIC北側の側道境界の復元測量を行うことで、スマートIC事業は完了するため。	